

「自分の感受性くらい
自分で守れ ほかのものよ」

「できあいの鬼魂、宗教、権威
には 倚りかかりたくない」

茨木のり子

POP_01
タテ55mm×ヨコ91mm

「私には きこえる
— その時が来たのだ」という」

「1945年8月6日
やすらかに 美しく油断していた」

石垣りん

POP_02
タテ55mm×ヨコ91mm

「詩人のふりはしているが
私は 詩人ではない」
「くり返さねはならない
命は くり返せないと
くり返さねは"ならない"」
谷川俊太郎

POP_03
タテ55mm×ヨコ91mm

「わたしは教師だが ときには
学校なんかに行きたくない
時があるんだよ」
(死の床にいる友に)
「じゃあ先に船出するんだね
船長」

辻征夫

POP_04
タテ55mm×ヨコ91mm